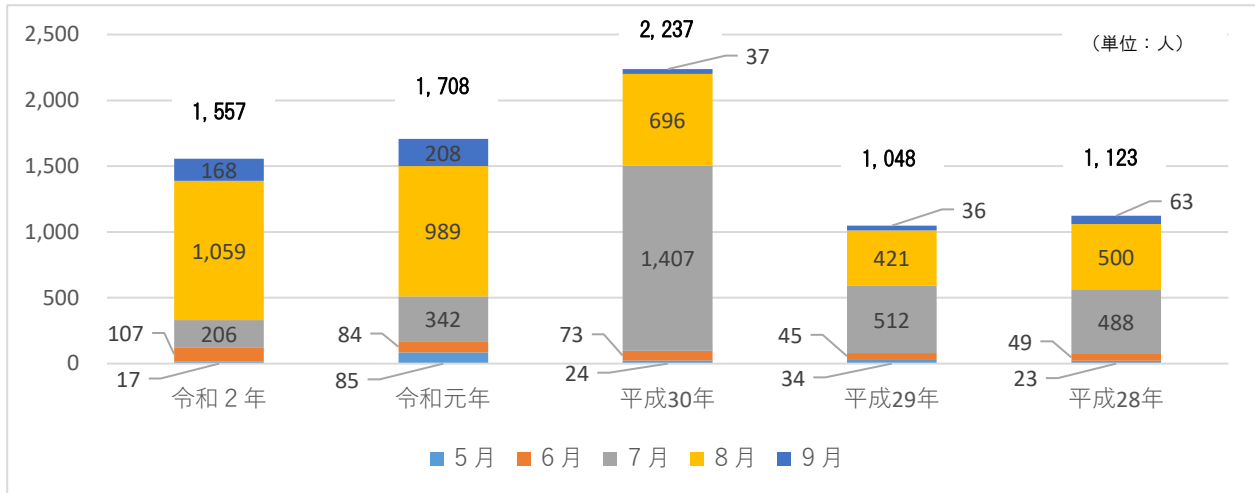


（※令和2年：速報値）

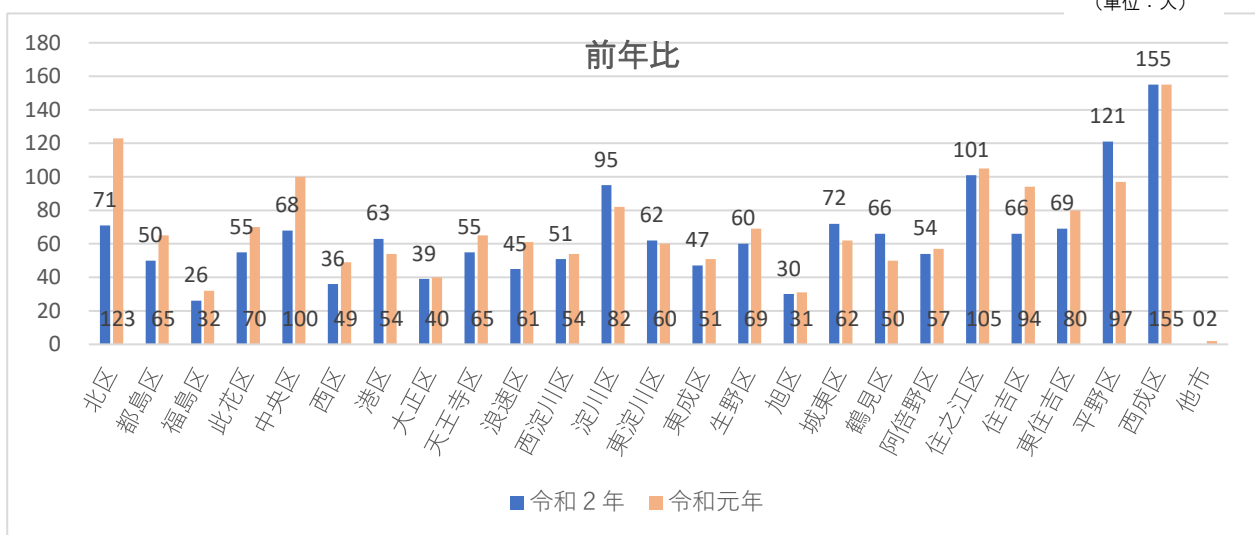
令和2年 熱中症による救急搬送人員の状況（5月～9月）

◆ 月別

- ✓ 令和2年5月から9月までの搬送人員は1,557人、前年同時期1,708人 前年比▲151人（約▲9%）
- ✓ 前年同様、ピークは8月

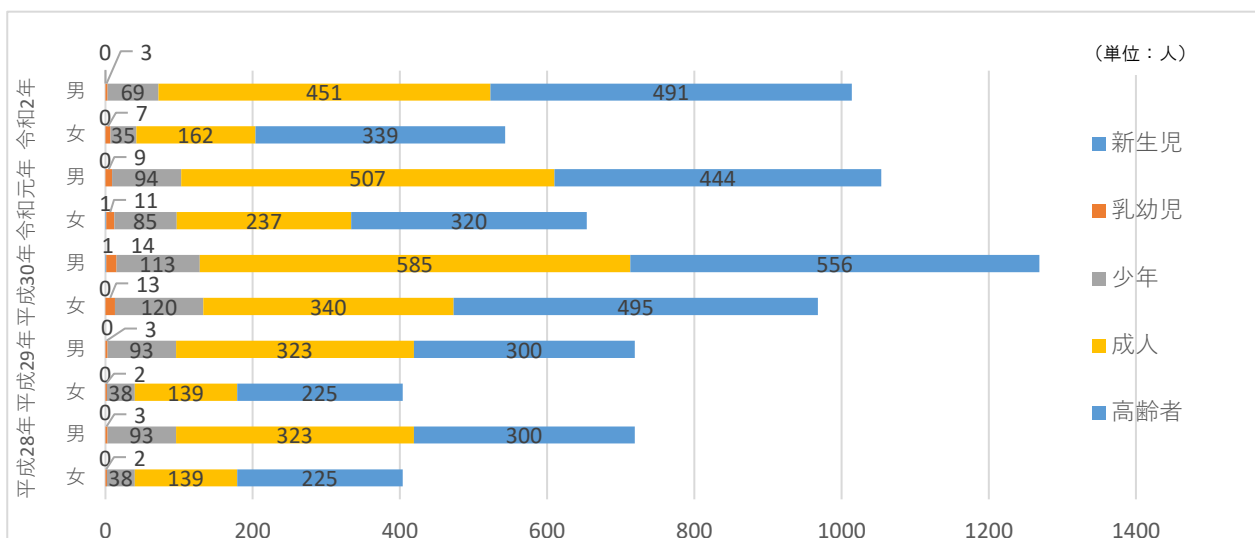


◆ 行政区別



◆ 性別

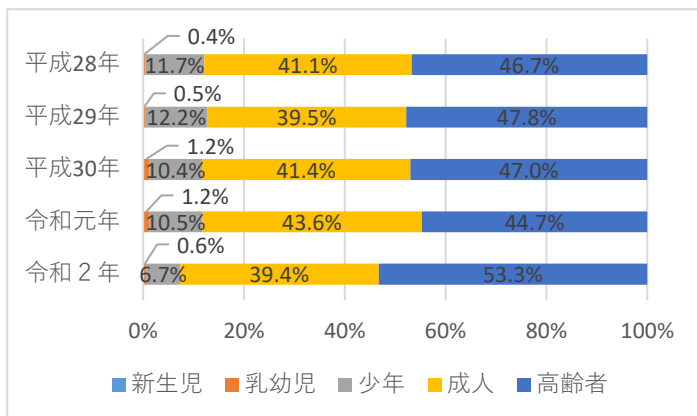
- ✓ 例年女性より男性が多く、特に成人はその傾向が顕著となっている。



◆ 年齢区分別

- ✓ 高齢者が最も多く（830人）、次いで成人（613人）、少年（104人）となっている。
- ✓ 前年に比べ、高齢者の割合（53.3%）が若干多くなっている。

（単位：人）

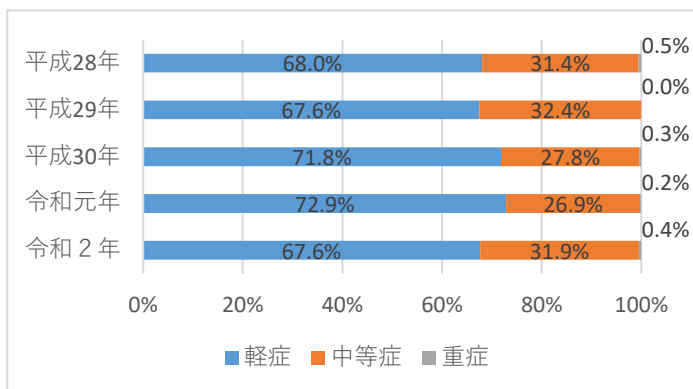


年齢区分	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年
新生児	0	1	1	0	0
乳幼児	10	20	27	5	5
少年	104	179	233	128	131
成人	613	744	925	414	462
高齢者	830	764	1,051	501	525
合計	1,557	1,708	2,237	1,048	1,123

新生児：生後28日未満の者
乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
少年：満7歳以上満18歳未満の者
成人：満18歳以上満65歳未満の者
高齢者：満65歳以上の者

◆ 傷病程度別

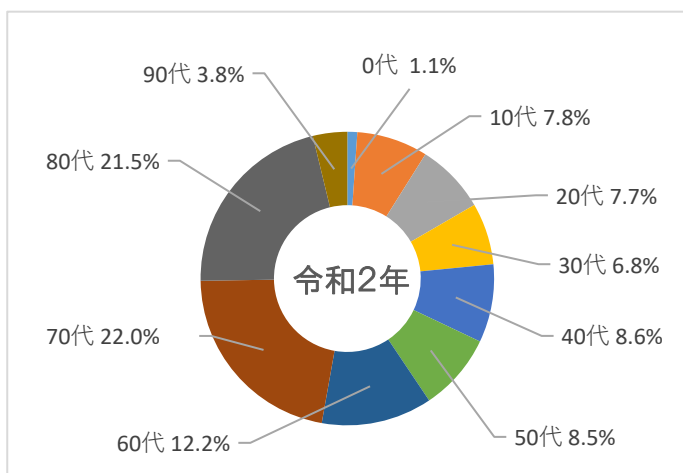
- ✓ 例年どおり、軽症（1,053人）が最も多く、次いで中等症（497人）、重症（7人）となっている。
- ✓ 前年に比べ軽症（67.6%）の割合が少ないが、中等症の割合（31.9%）が若干多くなっている。



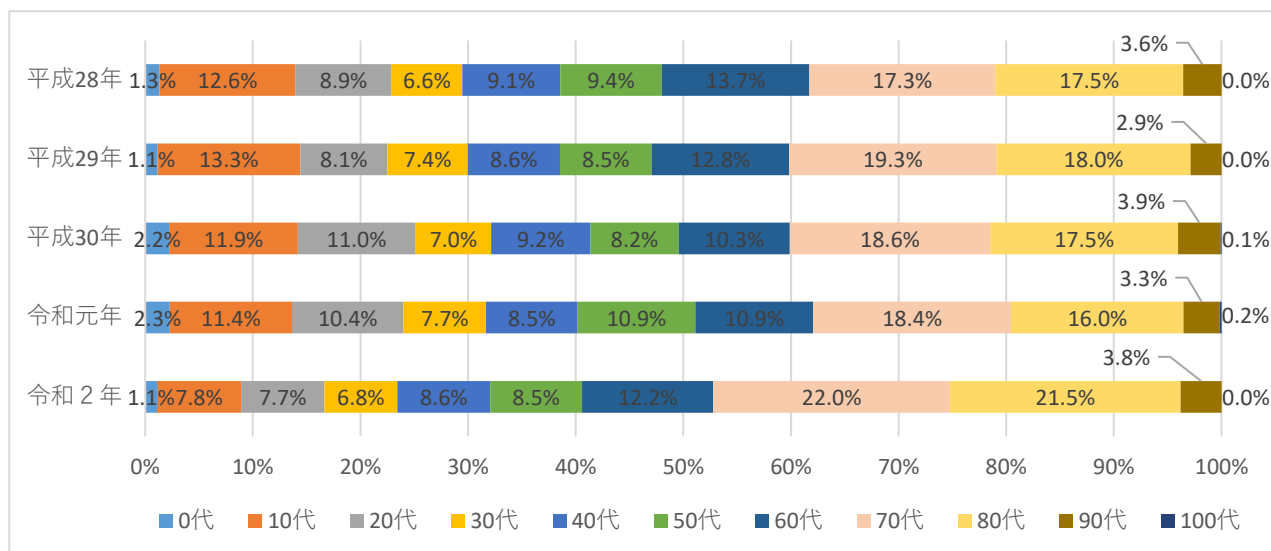
傷病程度	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年
軽症	1,053	1,245	1,607	708	764
中等症	497	459	623	340	353
重症	7	4	7	0	6
合計	1,557	1,708	2,237	1,048	1,123

◆ 年代別

- ✓ 例年70代、80代が多い。
- ✓ 令和2年は、70代、80代で約4割を占めている。

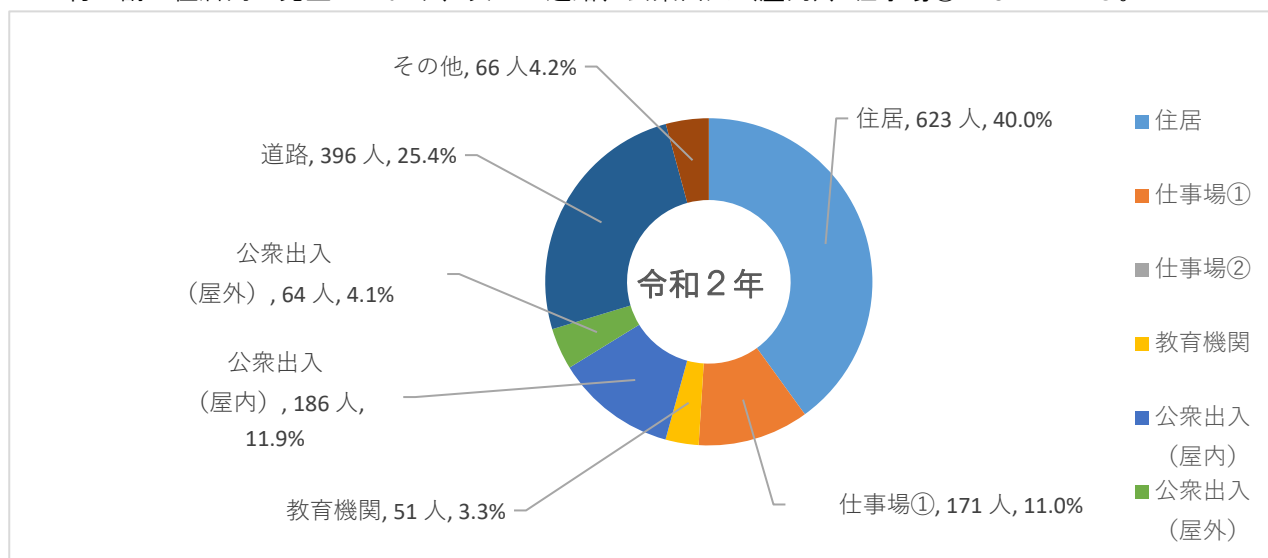


年代	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年
0代	17	39	50	12	15
10代	122	194	267	139	142
20代	120	177	245	85	100
30代	106	131	157	78	74
40代	134	145	206	90	102
50代	133	187	184	89	106
60代	190	187	231	134	154
70代	342	314	416	202	194
80代	334	274	391	189	196
90代	59	57	88	30	40
100代	0	3	2	0	0
合計	1,557	1,708	2,237	1,048	1,123



◆ 発生場所分類別

✓ 約4割が住居内で発生しており、次いで道路、公衆出入（屋内）、仕事場①となっている。



住居	(敷地内全ての場所を含む)
仕事場①	(道路工事現場、工場、作業所等)
仕事場②	(田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ)
教育機関	(幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)
公衆(屋内)	不特定者が出入りする場所の屋内部分(劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム等))
公衆(屋外)	不特定者が出入りする場所の屋外部分(競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム等))
道路	(一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)
その他	(上記に該当しない項目)

※ 発生場所分類は総務省消防庁への報告様式に基づくもの